

農作業受委託（施設外就労）実績

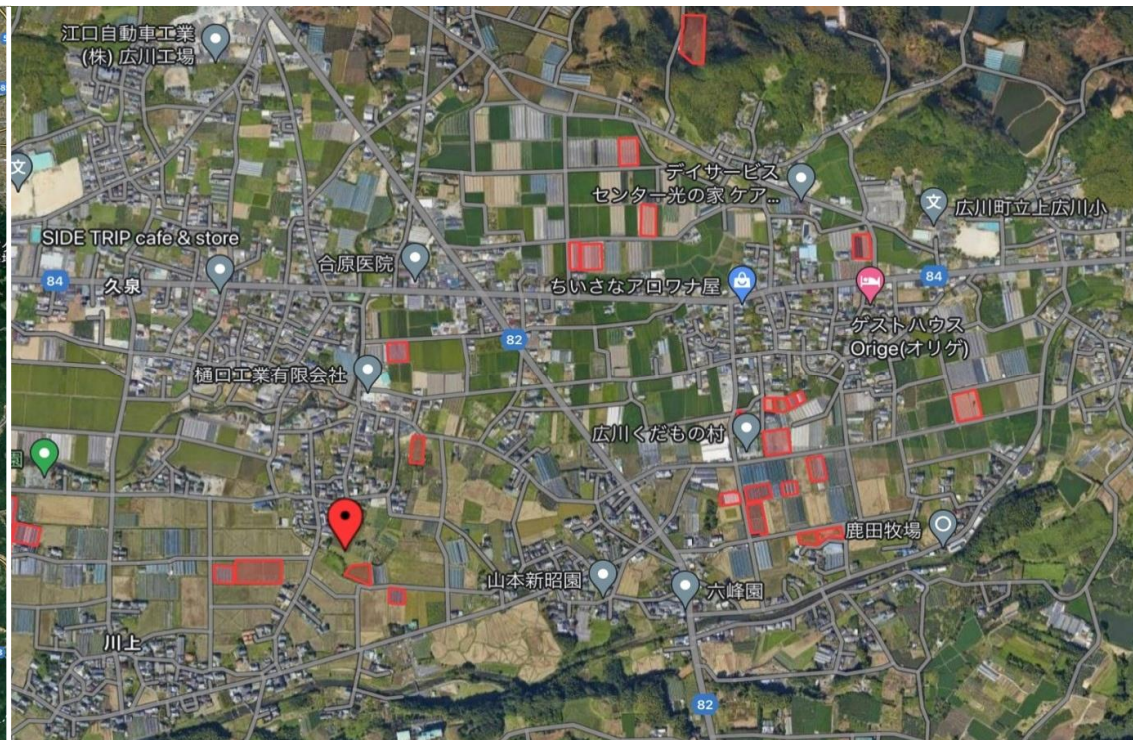
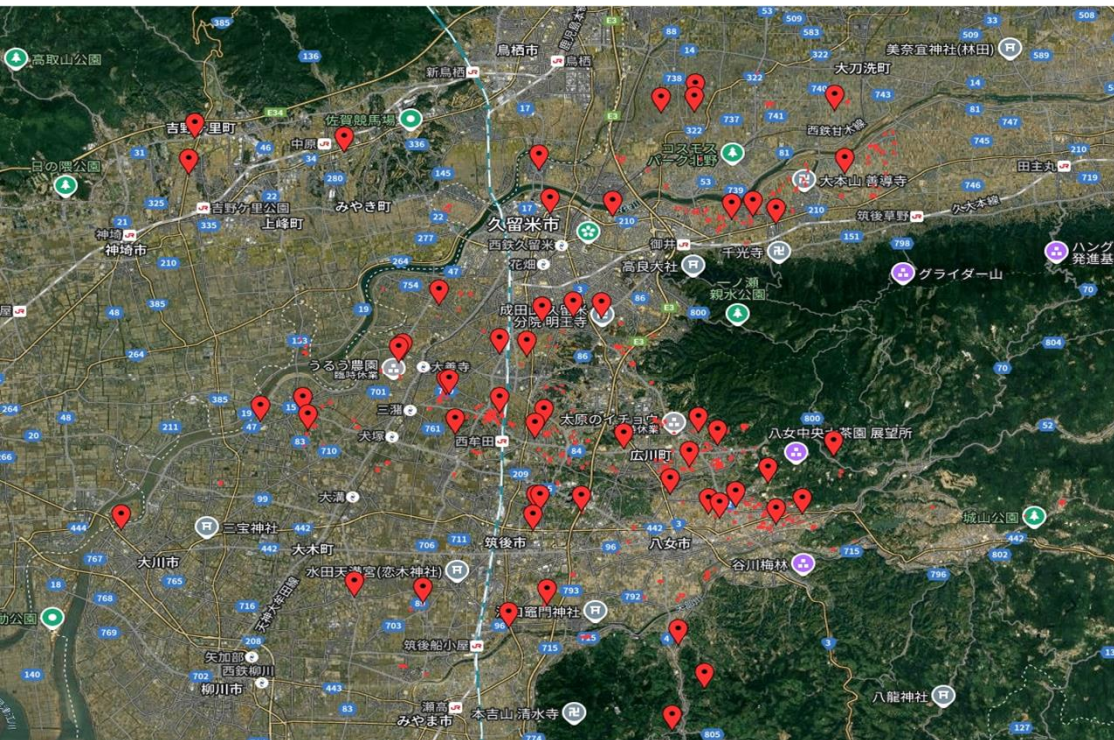
農作業の受委託契約農業者数（農業法人、JAを含む） 約 2 0 0 件

- ◆ 契約件数が増え、圃場が広範囲に点在する
- ◆ 路地作業のトイレの確保が大変



データ化し
クラウド上で管理

- ◆ 航空写真マップを圃場への道順や近くのトイレ（コンビニ、公共施設）等を探すのに活用



農作業受委託（施設外就労）

1 作業委託の流れ

- ✓ 作業は委託者とも連携しながら、圃場や生育状態等の情報把握に努め、天候予想と照らし合わせてスケジュールを調整



2 作業時間

- ✓ 夏場（6月～9月）はサマータイムを導入し、作業や休憩の時間調整を随時行うほか作業中全員に空調服を貸与するなど徹底した熱中症対策を実施

1. 通常期間 10月～5月（5時間作業）	08：50～14：55 （休憩65分）
（可能な者は7.5時間作業）	08：30～17：00 （休憩60分）
2. サマータイム期間 6月～9月（4時間作業）	07：50～12：10 （休憩20分）
（可能な者は7.5時間作業）	07：00～15：30 （休憩60分）

3 委託金額

（※ 算出方法であり、契約書記載内容ではない）

- ・ 金額算出の要素

最低賃金、工賃単価、人数、作業予定時間、作業環境等↓

- ・ 実施面積（数量）の全額または単位面積（数量）当たりの金額を算出

※ 委託金額は作業の内容による

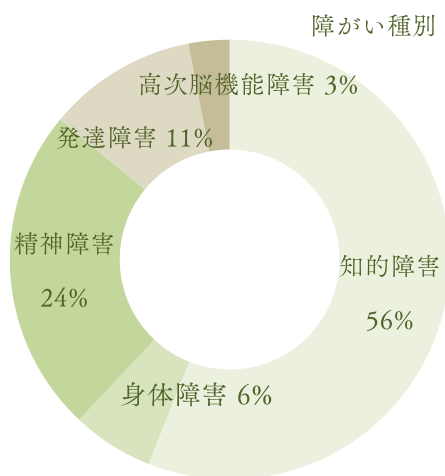
- | | |
|--------|------------------------------|
| ・ 交通費 | 往復の距離（km）× 30円 × 日数 × （車両台数） |
| ・ 管理费用 | 作業料金 × 10% |

利用者の適性と能力に併せた作業支援

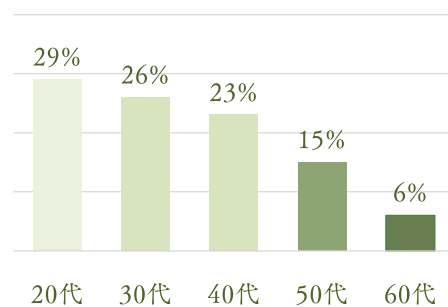
職員及び利用者を作業内容に合わせて、班分け

作業は「一班一作業」が基本

- ✓ 利用者の心身の状態を日常的に把握し配置
- ✓ 利用者の障がい等の特性、能力・得手不得手等を考慮し配置
- ✓ 利用者が行う作業と、職員が行う作業など作業を細分化
- ✓ 利用者個々の特性を考慮し、より分かりやすい手順書を作成
- ✓ 作業内容や進め方、留意点、利用者ごとの対応などを記載した手順書を作成



年代別



作業支援の流れ

支援は、「4段階職業指導法」と呼ばれる次の4つのステップで進めていく

1. Show（やってみせる）

- 職員が実際に作業をやってみせて、作業全体のイメージを持ってもらう

2. Tell（説明する）

- 作業の意味や必要性などを交えながら、作業内容を説明する
- 利用者から質問を受け付け、不明点や疑問点を解消していく

3. Do（やらせてみる）

- 作業を実際にやってみてもらい、どこまでできるかを見る
- 簡単な作業からはじめて、反復させ、定着したら徐々に作業の難易度を上げていく

4. Check（評価・追加指導する）

- できた部分とできなかった部分を明確にし、良かった点を褒める
- 反省点・改善点などを伝えてしっかりとフィードバックする